

時局下に於ける

私立幼稚園關係者の覺悟

猿江善隣館幼稚園長

藤野井行仁

今日われら國民に課せられてゐる重大課題は何んさいつても時艱克服のほかにはない。それは決定的に日常生活の各瞬間を支配し居らねばならぬ筈であり、その支配から免れて恣意的な課題なごに氣取られてゐる暇はないのが當然であらう。われ等の二十四時間の全精力はこれを擧げて斯の課題の解決に注がれてあらねばならぬ筈だ。

然るに今國民の實際を見るに存外要もない恣意的な課題に血道をあげて徒らに國內の相剋を招くが如き行動をとりつゝあるものもあるが、それはさう考へても時局即應の線とは相沿はないものであり、逆に時局に便乗して己れの宿望を達せんご意圖するものごしか思へないのである。少くごもかくの如き種類の行動に屬するものがあるごは殊ににごくしさを感ぜしめられる。しかもその恣意的行動が恰も國家の重要題目を趁うてゐるかの如

き擬裝を凝らしてゐる場合は尙更人の多くがこれを咎むるものがないので、それをいごごにしてゐるなごは全く許し難いごごせねばならぬ。

吾等は今ごんな職域にあらうご、ごんな仕事を思ひつかうごすべてはそれが時艱克服の關與になるであらう結論をもつてゐなければならぬ。

銃後に於ける幼児保育のごごは時艱克服のためにも最も大切なものであるだけに幼稚園に關與する吾人はいやしくも慎戒を怠るごごは遂に吾人の存在を看過しておかぬであらう、自分のやつてゐる事が果して國家のためになるか、ならぬかそれは私意か公意か不斷に反省すべきである。

公立幼稚園の運営並にその幼児教育内容についても吾人は種々なる問題を持つものであるが今はしばらくおき、吾人私立幼稚園關係者の反省を持ちたいごごは、私

立幼稚園が時局の推移に伴ひ、物價騰貴等のため經營難におかれ、身賣りしたいなきいふものゝあることを耳にするこゝであり、またそれを聞き傳へて、幼稚園なきいふものは名は美しいが單に糊口を業とする一存在に過ぎない、なきいふ放言する者さへあるこゝである。勿論斯の如きは極僅少ではあらうが、吾人幼児教育に關與するものは眞剣な檢討を要するものがあらう。最近は人口問題に關聯して幼児保護の問題があらゆる角度から取りあげられて來てゐるが、多年にわたつて幼児保育に努力がなされて來た私立幼稚園の運営指導については國家は何程の指導援助をなしたか、又私立幼稚園關係者がその聖職に何程の獻身的協力が拂はれて來たか此の際充分の研究を要するこゝになつたなきいはねばならぬ。

幼児教育の理論はその道の先達によつて早くから尊い論述研究が發表され公刊された著述も十指を屈して餘りあるが、さてその理論が實際に即してどの程度實踐されつゝあるかこの邊で研究者も亦幼稚園擔當の當事者も峻烈なる自己批判をしてよい秋ではなからうか。自ら省みて吾人は自己批判に餘りに臆病ではなかつたか、恥ぢるのである。まゝ幼稚園教育に従ふものは幼児教育は神聖であるさういふ觀念だけで表面體裁のよい形式に力をそゝいでその内容實態はなまぬるいこゝろがありはしない

か、かうしたこゝろが起因となり最も發奮すべき今日尙活潑な發言がなされないこゝろを淋しく思ふのである。

過去六十年の小學校教育が終りを告げて小學校が新に國民學校へ發足を見るこゝろになつたが、新しい教育は新しい教科書、新しい制度により新しい効果が擧げられるものゝ期待をされてゐる、この時に當つて「昔は讀み書きそろばんで立派な人間がつくれた、今日は何かさういふ教科書の改訂だ、制度の變更ださういふが、それで立派な人間がつくれるかと思へば、うすつぺらな小伶俐な小才子しか出來ないぢやないか」といつた街頭の聲に強ち同ずるものではないが、制度や教科書から蟬脱して教師と兒童との人格的交流にもつゝ重點が置かれるこゝろにならねばせつかく小學校が國民學校になつても豫期の効果は擧げ難いであらう。

國家が多額の經費をかけた義務教育の國民學校に於てさへこの感を深くするこゝろ、その爾前の幼児教育はまだまだ義務的にはなりさうにもなく、これらの幼児の教育は若干の公立幼稚園がある外は大多數心あるもの奉仕にまかせて私立の幼稚園設立の認可を與へてゐるだけであつたから、今日のやうな時局に當面して經營難に陥りフラクするもの出來てくるのも悲しい事ではあるが又故なき事ではないとも申されようし、當局も認可だけ

はしたものの、つまり出産だけを認めて其の後の育て方には親身にしてやらなかつたので今更指導なきさいつて乗り出しようもないさいつた處が當らずとも遠からざる現況であらう。然し今日こんな状態に私立幼稚園を放任して置いていいであらうか。

自ら私立幼稚園に關與するものが斯様な毒舌を弄するこゝは幼児教育の無効や不必要を提言するためではないので、この時局下に於ける幼児教育の普及徹底こそ最も大切であり國民學校教育の完成のためにも幼稚園さいふものが深き關聯があるから儻りなき現狀を申しのべて當局並關係者の眞劍なる關心を喚起したいからである。

巷間傳へるが如く私立幼稚園關係者が、その園の維持經營のためでもあらうが、敢て幼児の保護者の機嫌きづまをまつたり、一顰一笑に態度を更へたりする不甲斐なさを一擲して、もつこ使命の遂行に血みぎろの奮起が望ましいこゝこゝ、又この時局下にあらゆる苦杯をなめつても國家將來のため最も大切なる幼児の教育に精進しつつかある眞面目なる幼稚園の本然の有様について當局は勿論社會一般が充分なる理解を關心を持ち、その足らざるはこれを指導誘掖し、精神的並物質的に相當の援助なすの方途を講ぜられん事を希求するのである。私立幼稚園關係者が蔭でコソコソ當局の指導並援助の不足をかこち

社會の無關心な態度に不満を言ひつつも、はつきり公言する者の少ないこゝを淋しく思ふので斯業のため敢て一言するのである。

幸にもこのぶしつけな提言のうちに含む微意を取りあげられて、私立幼稚園關係者が、お互に脚下を照顧し深き反省を精進に相携えて起ち職域奉公に奮進する一方、當局も訓令や通牒の出し放しでなしに、現狀を調査し、充分なる指導援助を與へられんこゝを要望して止まないものである。

指導援助をするも尙且つ舊態依然たるものあらば、かかる者こそ幼児教育を蠱毒する輩であるから吾人關係者はこれ等の者に向つて幼児教育より退陣をせまるこゝも當局もその取締を嚴にせられんこゝを望むものである。